

1 小単元名 「農家の仕事」～イチゴ作り農家のひみつをさぐる～

2 授業構成

(1) 教師と教材

本単元は、農業に関わる学習の導入単元である。特に本単元では、イチゴ農家の生産の工夫や生産の仕事が市場のニーズにどのように応え、自分たちの生活とのどう関わっているかを最終的にとらえさせたい。単元の中では、ビニールハウスを実際に見学したり、農家の人にインタビューしたりする「かかわり合う」活動を組み、五感を通して農家の仕事を感じ取ることができるようにしてきた。

イチゴは冷凍保存やビニールハウスによる促成栽培で周年供給が可能となっているが、本来は春から初夏にかけて収穫できるものである。春にできるという特性がありながらどうして冬に作るすることができるのかを導入では取り扱い、その疑問から単元を通しての学習問題

「イチゴ農家の人は、どのようにして冬にイチゴを作っているのだろうか。」

を設定し、学ぶ意欲を持たせることができた。子どもたちなりの予想を立てた上でイチゴ農家の畑を見学し、本時までに発見カードにまとめている。

本時の学習では、見学を終え、「予想と同じだったこと」「予想とちがったこと」「新発見」の3つに色分けした絵カードにまとめた発見を皆で共有するという活動を展開する。発見を共有していく中で、自然条件との関わり、施設や設備に見られる工夫、仕事の進め方などの面から農家の工夫を事実即して多面的に考えさせたい。また、説明ができなかった事柄についてはもう一度見学やインタビューをしたり、発見したことを1年を通じた作業・手順別に仲間分けしたりできるよう、活動が課題(新たな活動)を生む学習としたい。

(2) 子どもと教師

「社会的思考力・判断力を育てる」ことを本校の社会科のテーマとしている。社会的思考力とは、「事実即して、社会事象を多面的に思考する力」と考えている。ある社会事象を、客観的な資料等にもとづいて多面的に見ていく力である。例えば本学級の前単元のスーパーマーケットを取り上げる学習では、「消費者のニーズにあった品揃えや配置・価格を考え、商品を販売している。」という事実を聞き取りなどの活動を通して、分析していった。その結果、買い物をするという具体的な場面の学習を通して社会事象を読み取っていくことができた。また、社会的判断力とは、「現在、または過去の社会事象に対して、どういう意味があるのか価値づけする力」と考えている。例えば、鳥取市の様子を学習する際に「工場は鳥取市のどこに建設するとよいだろうか。」という問題を投げかけた。「工場を建てるには広くて、平たい土地が必要だ」とか「たくさんの住宅がある所には騒音が迷惑で建てられない」など思いつきではなく客観的な理由づけをもとに判断をするという学習が展開できた。

本単元では、見学で見つけた農家の工夫がイチゴの特性や市場のニーズとどのように関わっているのか、そしてビニールハウスはコストがかかるがそれでも生産をするのはなぜかという問題を考え、「社会的思考力・判断力」を養っていききたい。

本時では、見学での発見をまとめながら、発見したそれらの施設や作業の工夫がイチゴの特性や市場のニーズとどのように結びついているのか考えさせ、社会的思考力を身につけさせたい。

(3) 子どもと教材

イチゴといえば子どもたちが大好きな食べ物の一つであり、学校近くのビニールハウスで栽培されていることから教材化を試みた。今やイチゴはビニールハウスによる促成栽培により、冬でもスーパーに行けば手に入れることができる。当たり前となっているイチゴの周年供給であるが、そこには農家の英知がたくさん詰まっている。それを子どもたちに感じ取らせたい。

本時の学習問題は以下の通りである。

田中さんはどんな工夫をしてイチゴを育てているのだろう。

イチゴ農家の人の工夫や努力がイチゴの特性や市場のニーズとどのように結びついているかを考えよう。

上記の問題に対して、意図している児童の活動は以下の2つである。

見学で発見したことをまとめたカードを皆に紹介する

発見したことがイチゴの特性や市場のニーズとどのように結びついているか話し合う。

上記の活動に対しての支援は次のように考えている。

見学の様子がわかる写真を用意しておき、それを見せながら見学の場面を鮮明に思い出せるようにする。

事前に学習したイチゴの特性について振り返りながら、本来は冬にできない性質と結びつけながら発見したこととどのように結びついているか考えさせる。くり返し「どうして」と問うことで、見学を通して得た事実即して、農家の工夫をとらえさせたい。

3 小単元の目標

わたしたちの地域では、人々が自然条件・社会条件を生かして、生産に関する仕事をしており、日々のわたしたちの生活を支えていることがわかる。

身近な地域の生産活動や実際について、観察・調査したり、表現したりすることを通して、仕事の特色や他地域との関わり、仕事に携わる人々の工夫を具体的に考える。

4 学習計画

月	内容の区分と資料	時	学習事項	目 標		観 点				
				内容目標	行動目標	技能	知理	思判	表現	関意
単 元 名				人々の仕事とわたしたちの暮らし						
単元の目標				わたしたちの地域では人々が生産や販売に関する仕事をしていて、わたしたちの生活を支えていることがわかる。						
11月	農家の仕事	10	わたしたちの地域では、自然条件・社会条件を生かして、人々が生産に関する仕事をしていて、日々のわたしたちの生活を支えていることがわかる。 身近な地域の生産活動や実際について、観察・調査したり、表現したりすることを通して、仕事の特色や他地域との関わり、仕事に携わる人々の工夫を具体的に考える。							
			(1)	イチゴプロフィール	イチゴの特性について知る。 イチゴを作る工夫を予想し、学習課題を作る。 イチゴ作り農家では、どのような工夫をして、冬にイチゴを育てるのだろうか。					
12月	イチゴの特性	(1)	見学計画を立てよう	見学するときの視点について話し合う。 予想を立て、何をどのように見学したらよいか話し合おう。						
		(2)	ビニールハウスに行ってみよう	生産に関わる工夫を見つける。 生産の工夫を見つけよう。						
	農家の畑	(2)	発見カードにまとめよう (本時2 / 2)	見学して発見したことを絵カードにまとめる。 イチゴ作り農家の人は、どんな工夫をしていたか、発見カードにまとめよう。						
		(2)	1年間の農家の仕事	1年間を通しての農家の仕事をまとめよう。 発見カードをもとにして、1年間の作業の流れをまとめよう。						
見学のビデオ・写真	(1)	イチゴの行方	市場やケーキ屋などの出荷先を調べ、わたしたちの生活とのつながりを話し合う。 収穫したイチゴはどこへいくのだろうか。							
	(1)	イチゴ新聞を作ろう	学習してきたことを新聞にまとめる。 学習したことを新聞にまとめ、発表しよう。							

5 本時の学習について

(1) 本時の目標

見学で発見したことをもとに、農家の様々な工夫が自然条件やイチゴの特性、市場のニーズに対応しているということがわかる。

(2) 本時の予想される児童の活動

絵カードを使いながら見学で発見したことを皆に紹介する。

発見したことが自然条件やイチゴの特性、市場のニーズにどのように結びついているか話し合う。

(3) 本時の展開

学 習 活 動	教師の支援と評価()
<p>1. 畑を見学した時のビデオを見て、見学の様子を思い出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・頑丈な、あったかいビニールハウスだったな。 ・イチゴ作りの工夫の予想が外れたよ。 ・いろんな設備があったね。 	<p>1. 見学している様子をビデオで流し、見学の様子を思い出させるとともに、本時の学習への方向付けをしたい。ビデオは施設や設備などの映像を中心にまとめておくことで、ねらいの意識づけをしたい。</p>
<p>田中さんはどんな工夫をしてイチゴを育てているのだろう。</p>	
<p>2. 発見カードを仲間分けしながら、見学では発見したことをまとめる。</p> <p>【土づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農薬をなるべく使わないようにするんだよ。 <p>【苗作り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・畑に苗を植え付けながら、既に来年の苗作りが始まっていたね。 <p>【苗を育てる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・畝の左右にイチゴを振り分けているよ。ミツバチもいたよ。 ・ヒーターで温度を調整していたよ。赤くなるまで900度必要。 <p>【収穫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収穫したその場で箱に詰めるんだよ。 	<p>2. 作業ごとにまとめていくことで農家の仕事の進め方、工夫や努力をとらえられるようにする。</p> <p>発見カードだけでは、場面を想起できない児童に対して作業ごとに写真を見せるようにする。</p> <p>【土づくり】【苗作り】【苗を育てる】【収穫】と作業ごとに短冊を黒板にはり、農家の作業をまとめやすくする。</p>
<p>3. 施設や設備などの工夫や仕事の進め方などについて話し合う。</p> <p>【土づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・砂だとすぐに水がしみていくから、苗がいたみにくいよ。 <p>【苗作り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イチゴに日光が当たるように、収穫しやすいように植えていた。 ・ビニールハウスで育てることで、収穫が長い期間できるんだね。 <p>【苗を育てる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イチゴは冬なのにずっと春だと思って、5~6回も実をつけるんだって。 ・食べる人は安全で安くておいしいものが食べたいと思っている。 <p>【収穫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すぐに出荷するから、新鮮なイチゴが家に来るね。 ・クリスマスケーキにイチゴが使えるね。 	<p>3. 一つ一つの発見について、「どうしてこんなことするの?」と問うことでイチゴの特性や市場のニーズに対応した農家の工夫をとらえさせたい。(特に「品種は2種類・温室・ミツバチ」を取り上げたい)</p> <p>なかなかイチゴの特性を思い出せない場合は、プロフィールプリントを見るように促す。</p> <p>思考・判断 自然条件、市場のニーズとの関わり、施設や設備に見られる工夫などの面から農家の工夫を具体的に考えている。(発言・ノート)</p>
<p>4. 本時のふりかえりをノートに書き、次時の学習問題を確認する。</p>	<p>4. 農家の工夫について理由を説明できなかったことは、もう一度聞いたり見学したりして解決していくこと、また工夫を1年間の作業の進めかたという視点でまとめていくことを話し、次の活動への意欲を持たせたい。</p>



骨組みがしっかりしたビニールハウスだね



ビニールハウスの中はあったかいな



いろんな発見をしたよ